



各地自慢の味に舌鼓  
東町2丁目

6月9日(土)と10日(日)の2日間で行われたB-1グランプリin鳥取は、県内外から計11万7千人もの来場者があり、大成功のうち閉幕しました。来場者は各地を代表する料理に舌鼓。家族や友人と料理を食べ比べながらお気に入りの味を見つけていました。「美味しかったです。ついつい食べ過ぎてしまいました」と、みなさん大満足の様子でした。また、各出展団体によるPR合戦にも熱が入り、訪れた人を楽しませていました。



まちがどアルバム



まんが王国とっとりを応援  
河原町高福

5月27日(日)、人気アニメ「エヴァンゲリオン新劇場版」と提携して誕生したレーシングチーム「エヴァンゲリオンレーシング」が、道の駅清流茶屋かわはらに登場しました。アニメに登場する機体の色彩が施されたバイクが登場し、エンジンの爆音が鳴り響くと、会場は一瞬でサーキット場さながらの雰囲気に変身。訪れた多くのバイク愛好者やアニメファンで会場が熱気に包まれていました。



恒例行事は大盛況  
国府町楠城

5月27日(日)、今年で21回目を迎えた「国府マストリフェスタ」が楠城地内の袋川で行われ、家族連れや釣り愛好家など約600人が釣りやつかみどりを楽しみました。この日は朝から晴れ渡り、汗ばむほどの青空の下、鳥取市内はもとより県内外からもたくさんの方が参加。真剣な顔で釣り糸を垂らしていました。小学生以下が対象のマスのつかみどりでは、逃げまどうマスを、歓声を上げびしょぬれになりながら追いかける子どもたち。中には一人で50匹以上も捕まえた子もいました。大人たちは、池の周りで一緒になって声援を送っていました。





## 地域の宝「温泉」を楽しむ 気高町浜村

5月26日(土)、気高町内の足湯をめぐる「足湯めぐりナイトウォーク」が行われました。3歳から69歳の参加者22人は、途中、貝がら節や小泉八雲などの気高町にちなんだクイズで地元の魅力を再発見しながら、約1kmのナイトウォークを満喫。歩きながら足湯をめぐるところに足元からポカポカと温まり、参加者は健やかな汗をかいていました。



## ものづくりの先生に挑戦 元町

5月27日(日)、智頭街道商店街で行われた「因幡の手づくりまつり」では、地元遷喬小学校の児童がものづくり体験講座を出展しました。この日は好天に恵まれ、たくさんのお客さんが来場。児童らは、お客さんに親身になって作り方を教えたり、飾り付けを手伝ったりしました。この日のために鳥取大学の学生と一緒に準備を進めてきており、その成果を存分に発揮。とても自信がった様子でした。



## ヤマメの放流で大騒ぎ 鹿野町鷺草

5月16日(水)、こじか園の5歳児39名が小鷺河地区公民館の職員や地域の人と一緒に町内の河内川にヤマメの稚魚約1000匹を放流しました。これは、子どもたちに自然と直接触れ楽しむ機会を与えたいという地元の人たちの協力により行われた事業です。直接魚に触るのは初めての園児がほとんどで、珍しそうに触ってみたり、積極的につつかんだり大騒ぎしながら順番に稚魚を放流。「元気でね、大きくなってよ」と成長を楽しみにしているようでした。



## たんぼアートに初挑戦 青谷町青谷

6月3日(日)、青谷上寺地遺跡の水田で、青谷小学校5年生の児童らがたんぼアートに挑戦しました。これは、稲の色の違いでサメの絵柄を浮かび上がらせるもので、児童と保護者の約100人が参加。晴れ渡った空の下、初めての泥の感触を楽しみながら古代米の苗を1株ずつていねいに植えていきました。「泥は気持ち悪かったけど上手に植えられてよかった」と子どもたちは大満足。収穫は10月ごろに行われます。



## 人権の花を大切に育てよう 吉成一丁目

6月4日(月)、美保小学校の2年生に人権の花が贈られました。この取り組みは、花を大切に育てることを通して思いやりの心を育もうと行われている取り組みです。花の贈呈式では、「じんけんのぞみちゃん」が登場。児童たちは大歓声で迎え、「好きな食べ物は何ですか」「好きな花は何」と、たくさん質問をしていました。